

事業者ID

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2019 年 11 月 21 日

（提出先）  
横浜市長

住所 兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6  
神戸国際会館14階  
氏名 シン・エナジー株式会社  
代表取締役社長 乾 正博  
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気供給事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	シン・エナジー株式会社 代表取締役社長 乾 正博	
主たる事業所の所在地	兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館14階	
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	これからの「電力会社」として、エネルギーを創るところから賢く使うところまでのサービスをワンストップで提供し、持続可能な社会の実現を目指しています。 創エネ事業として全国規模で再生可能エネルギー（バイオマス・太陽光・地熱・水力など）の開発を進めているほか、新電力事業も行っています。	
担当部署 連絡先	事業所名	神戸本社
	部署名	エネルギートレードグループ 需給管理部
	電話番号	078-600-2665
	E-mail	symene_pps@symenergy.co.jp

### 2 対象年度

提出年度 (当年度)	2019 年度
---------------	---------

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源開発に係る取り組み方針      ①地域に密着した環境に優しいクリーンエネルギーの開発を進めます。</li> <li>②再エネ電源からの売電事業を進めます。      ③海外の水力発電開発プロジェクトにも参画しております。</li> <li>・電力供給に係る取り組み方針      ①安定供給に努めつつ、できる限り再エネ電源からの調達量を増やします。</li> <li>②自社のCO2排出係数低減に努めます。      ③WEB上で電力使用実績の見える化を実施します。</li> </ul>
---

#### 4 推進体制

当社の各事業部がそれぞれ拡大する中で、川上（創エネ）から川下（省エネ）までを一貫してマネジメントする体制を構築しています。

#### 5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
公表方法	

#### 6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
公表方法	

#### 7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

・当社は経営理念として「未来の子どもたちからの「ありがとう」のため生きとし生けるものと自然が共生できる社会を創造します」を掲げております。当社事業の重要な柱である「クリーンエネルギーの開発事業」を行うとともに当社の取り組みを社外へ広く紹介することで通して低炭素電気の普及を促進しています。

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input checked="" type="radio"/> 対応不可
	備考	現在対応を検討中です。

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの二酸化炭素の量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	2017年度	2018年度	2019年度	2030年度
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]
基礎排出係数	0.390	0.579	0.500	0.400
把握率 (%)	99	97.810	—	—
調整後排出係数	0.400	0.592	0.500	0.400
メニュー別 排出係数				—
前々年度の排出係数 に対する前年度の 排出係数の増減理由	電源調達先の変更による。			
排出係数の抑制措置 のための取組	非FIT再エネ・未利用エネルギー等の調達に努める。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	2017年度	2018年度	2019年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量	378,931	815,057	700,000
市内	4,547	9,781	—

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	2017年度		2018年度	
	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量（総量）	847,115	—	1,629,614	—
再生可能エネルギー （FIT電気除く）				
太陽光				
風力				
水力				
その他 （                    ）				
再生可能エネルギー （FIT電気）	96,798	11.43%	167,923	10.3%
太陽光				
風力				
水力				
その他 （                    ）				
未利用エネルギー	0	0.00%	0	0.0%

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	2017年度		2018年度	
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]		実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	
削減相当量	0		0	

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

当社ではこれまでに未利用エネルギーを利用した発電を推進し、着実に実績を蓄積してきました。電源開発の種類は、未利用温泉熱を利用した地熱発電、地元未利用木材を利用したバイオマス発電、位置エネルギーを利用した小水力発電など多岐にわたります。未利用エネルギーを利用した発電による電気の供給量を今後いっそう増加させるよう各地で電源開発に取り組んでいます。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

低炭素電気の普及につながるよう、社外からの電源調達を検討する際には電源種別について十二分に検討しています。